

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第3回入間市総合教育会議
開 催 日 時	令和4年1月31日(月) 午前10時00分 開会、午前11時30分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	市長 杉島理一郎 教育長 中田一平 教育長職務代理者 河村佳樹 教育委員 高山茂 教育委員 橋本清美 教育委員 山本和人
欠席委員(者)氏名	-
説明者の職氏名	青少年課長 黒木聡子 企画課政策推進室長 石原健二
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨 拶 3. 報告事項 (1) 学童保育室の設置状況について (2) 第6次入間市総合計画について 4. 協議・調整事項 (1) 教育大綱の策定について (2) その他 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	1人

配 布 資 料	資料 1-1 : 令和 4 年度の学童保育室の設置状況について 資料 1-2 : 学童保育室整備図面 資料 2-1 : 第 6 次入間市総合計画 基本構想 資料 2-2 : 第 6 次入間市総合計画 後期基本計画 (抜粋) 資料 3 : 第 3 期入間市教育振興基本計画 (案)
関係者職氏名	○教育部 教育部長 浅見嘉之、教育部次長 片寄貴之 教育部参事兼学校教育課長 遠藤敏 教育総務課長 村田雄一、教育総務課主幹 千葉茂 ○こども支援部 こども支援部長 齋藤忠士、こども支援部次長 佐藤政史 青少年課長 黒木聡子
事務局職員職氏名	○企画部 企画部長 鳥山政之、企画部次長 栗原康友 企画部企画課政策推進室長 石原健二 企画課政策推進室副主幹 森正行、企画課政策推進室主査 齊藤祐樹
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

< 報 告 事 項 >

(1) 学童保育室の設置状況について

令和 4 年度の設置状況について説明を行った。

(2) 第 6 次入間市総合計画について

令和 4 年度から 8 年度までを計画期間とする後期基本計画と、本計画に併せて見直しを行った基本構想の概要について説明を行った。

< 協 議 ・ 調 整 事 項 >

(1) 教育大綱の策定について

入間市教育振興計画をもって入間市教育大綱とすることとした。

教育大綱については市長の考える教育指針を表すものであるため、次期総合計画の検討段階においては、別途作成することも視野に入れて検討する。

(2) その他

特になし。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
	<p>（委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する）</p> <p><進行：鳥山部長></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 報告事項</p> <p>（1）学童保育室の設置状況について</p> <p>企画部長 報告事項についてこども支援部より説明を願う。</p> <p>青少年課長 それでは学童保育室の令和4年度の設置状況について説明する。 （資料1-1及び1-2を説明）</p> <p>企画部長 . ただ今の報告事項について、質疑等はあるか。</p> <p>橋本委員 藤沢北学童保育室について、送迎等による自動車の出入りについては何か対策を講じているのか。</p> <p>青少年課長 駐車場について、令和4年度は近隣の民間駐車場に10台分の駐車スペースを確保している。令和5年度以降については検討中である。</p> <p>橋本委員 藤沢北学童保育室の民間委託事業受託者となった株式会社コマームの魅力はどういったところか。魅力的なカリキュラム等があれば教えていただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
青少年課長	<p>株式会社コマームは既に入間市児童センターや金子学童保育室・金子第二保育室の民間委託を受託している実績がある。受託事業者は保育士を含むこども支援部の職員や教育委員会の指導主事等から成る選定委員会により様々な採点基準を設け、選定しており、その中で株式会社コマームの良かった点は地域性を重視している点である。例えば地域の高齢者に参加してもらい「むかし遊び」をしようとした際に、どのように地域住民にアクセスし、参加してもらうかといったことについての手法が示されていた。また、先述したような実績がある点も評価が高かったポイントである。</p>
橋本委員	<p>現状では時間割やカリキュラムといったものがあるわけではないのか。</p>
青少年課長	<p>学童保育室は生活の場であるため、いわゆる学習をする時間割というのは設けていない。生活リズムという意味での時間割、例えばおやつ時間の前には外遊びをし、おやつ後にはクールダウンの意味で読書をするといったようなものは設けている。また、カリキュラムという点では、遊び道具を搭載したプレーカーの導入等、様々な提案はいただいている。</p>
河村委員	<p>学童保育室を利用している家庭で、ひとり親家庭の割合はどれくらいか。</p>
青少年課長	<p>詳細な数値は持ち合わせていないのでわからないが、学童保育室の受け入れ時に行っている入室審査では、ひとり親家庭について加点しており、優先して入室できるよう配慮している。</p>
河村委員	<p>論点から少しずれてしまうが、学童保育室を利用するのが当たり前の世の中になっていくことに少し違和感を持っている。近年、働き方改革が声高に叫ばれており、これは働く人本人が働きやすいようにしていくものと</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>して改革が進んでいるが、今後は子どものためになる働き方改革という視点で考えていかなければならないと思っている。</p>
高山委員	<p>学童保育室の活動では、学校施設を多く利用しているものなのか。</p>
青少年課長	<p>現状だと校庭を利用させていただくことが多い。また、学校側から体育館や図書室の利用についても申し出ていただいているが、コロナ禍ということもあり、利用は控えている。</p>
高山委員	<p>プールを利用した例はあるのか。</p>
青少年課長	<p>プールについては、学童保育室での利用はしてはいないが、夏季休暇中に学童保育室に通っている子どもが、学校側で設けているプール教室にその時間は参加し、終了後に学童保育室に帰ってくる、という形で利用している。</p>
山本委員	<p>放課後子ども教室との関わりはどういったものがあるのか。</p>
青少年課長	<p>学童保育室に通っている子どもであっても、放課後子ども教室に参加できる仕組みになっており、体験の場を提供している。また、夏季休暇中には学童保育室に通う子どもを対象とした出張放課後子ども教室を開催している。</p>
企画部長	<p>では、報告事項（１）学童保育室の設置状況については以上とする。密の回避の観点から、こども支援部の職員についてはここで退室させていただく。</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>(2) 第6次入間市総合計画について</p> <p>報告事項について企画部より説明願う。</p>
政策推進室長	<p>令和4年度から8年度を計画期間とする第6次入間市総合計画・後期計画とその策定に際し、見直すこととした基本構想について概要を説明する。</p> <p>(資料2-1及び資料2-2を説明)</p>
企画部長	<p>ただ今の報告事項については、策定中の第2期教育振興基本計画と密接に関わっており、その内容はこの後にご協議いただく、教育大綱の策定にも影響があることから、教育に関わる部分について少々長く説明させていただいた。このことについて、質疑等はあるか。</p>
高山委員	<p>前期基本計画と見比べてみたが、説明のあった基本構想における土地利用構想について、青梅インターチェンジ北側地域が工業系土地利用を推進していくエリアに位置付けられていることは金子地区の住民として大変嬉しく思う。住みよい、または住んでみたいと思ってもらえるように当該地区を活用したほうがよいと長年思っていた。実現に向けてしっかりと取り組んでいただきたい。また、同じく土地利用の項目で水辺と緑の保全という項目がある。ここでは「狭山茶の主産地である本市の金子地区を中心に広がる茶畑等を農業生産地として保全していきます。」と記載されている。前期基本計画にも同様の記載があり、理想として掲げることは良いことだと思うが、実際には一面に広がっていた茶畑の景観も、農業を辞めてしまう農家が出て、その景観にポツポツと穴があいてしまっているし、荒れ地やゴミが山積している箇所もある。市の構想として金子地区に広がる茶畑の景観を守っていくということであれば、そういった現実問題にも対処していく必要があると思う。それが難しいということであれば、今回の</p>

発 言 者	発 言 内 容
市長	<p>青梅インターチェンジ北側地域のように土地利用の考え方を変えていく必要があるのではないかと。市のなかで金子地区をどう位置付けていくのかということをも市全体のバランスを考慮しながら考えていただきたい。</p> <p>また、後期基本計画では第1章第3節でコミュニティ活動の充実を掲げているが、自治会加入率が低下している現状を踏まえて、どのように維持し、充実させていくのか。私自身は何でも行政がやってくれると思うのではなく、地域の支え合いや助け合いが大事だと思っている。みんながそう思うように教育も取り組んでいくべきだと思うので、教育委員会とも協力しながら充実に向けて取り組んでほしい。</p> <p>高山委員が言うように自治会もPTAも考え方は同じだと思う。子どものことや地域のことに関わりたいと思っても、実際の活動がその思いに合っていないことが問題だと考えている。自治会等の役割や在り方について考えていくことが大事だと捉えている。</p>
教育長	<p>PTAについても毎年同じことを繰り返すだけになっている。こういったタイミングを見直す良い機会と捉え、見直しに向けて検討していきたい。</p>
山本委員	<p>第2章で生涯学習について触れられており、学習成果の活用においては生涯学習を通じて学んだことを教育の世界だけで活用していくのではなく、広く行政全体として活用していくという視点が重要だと考える。先ほどの学童保育室の「むかし遊び」でも触れられていたが、これまで学んできたことを活用する場面は教育現場だけに限ったものではない。また、これまで働いていたなかで身に付けた技術を活かして、地域活動に参加したいと思っている方もいる。様々なところと関わりを持つことで学びも広がっていくと思うので、分野を限定しすぎないように見直しを図りながら計画</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>を進めていただきたい。また、第3章の章の目標には「地域福祉を基盤として、市民同士の支え合いを中心とした福祉を充実するとともに、保健・医療・福祉の連携によって」という記載があり、この中に教育が入っていないが、これらと教育との連携も非常に重要だと思う。今回は抜粋という形で第3項を資料としていただいたが、教育に関わるのは第3項だけではなく、第3章全体であるべきだと思う。行政の分担という意味で分けて表記しているのかもしれないが、人口減少社会においては連携ということが重要になってくる。これから入間市もコミュニティ・スクールを始めるなかにおいては、地域が行政を支えていくという面も出てくると思うので、そういったところを重視して取り組んでいただきたい。</p>
企画部長	<p>今後、この基本計画に基づき、各個別計画で定める施策や事業のなかで推進を図っていきたい。</p>
河村委員	<p>第2章第2項の協働の取り組み方向は「市民主導」であるが、家庭でのいわゆるしつけが難しい昨今、ある程度行政が介入していく必要性を感じているので、第1項のように「行政主導」としてもよいのではないか。</p>
政策推進室長	<p>関係部局と検討していく。</p>
企画部長	<p>報告事項（2）第6次入間市総合計画については以上とする。</p>
企画部長	<p>4. 協議・調整事項</p> <p>（1）教育大綱の策定について</p> <p>教育行政の大綱については、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させること等の観点から、市長が策定することとされている。その策定に当たっては、市長と教育委員会との間で十分に協議し、調整を尽く</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>すことが前提となっていることから、この総合教育会議における主要な協議事項となっている。ただし、教育振興基本計画が教育委員会において定められている場合には、市長が総合教育会議で教育委員会と協議・調整を行ったうえで、同基本計画をもって大綱に代える判断をした場合には別途定める必要はないとされている。本市においては、「第6次入間市総合計画・前期基本計画」と「第2期入間市教育振興基本計画」の内容が整合していることを本会議において確認し、同振興基本計画をもって大綱に代えるとして、これまで大綱は策定していない。現在、本市においては令和4年度からの本市の行政運営の計画である「第6次入間市総合計画・後期基本計画」を策定中であり、教育委員会事務局においては、こうした動きと並行して「第3期教育振興基本計画」の策定を進めているところである。第2回会議において、その内容について協議いただいた「第3期入間市教育振興基本計画」について、現時点での案は資料3のとおりである。また、先ほど企画部から、「第6次総合計画後期基本計画」における教育に関連した内容について、ご報告させていただいた。現時点において両計画とも、内容についてはほぼ確定している状況であり、本日のご協議で、教育振興基本計画をもって、大綱に代えるということが確認できれば、最終校正作業を行うことを予定している。それでは、両計画の整合及び大綱の取り扱いについて、みなさまからご意見を伺いたい。まず杉島市長に内容確認も含めてご意見等を伺いたい。</p>
市長	<p>両計画とも時代背景も含めて、きちんと整合が図られており、教育振興基本計画をもって大綱に代えることで問題ない。</p>
企画部長	<p>次に、教育長のご意見を伺いたい。</p>
教育長	<p>計画を立てることが目的ではなく、計画に基づいて、その目標にいか</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>近づけるかという方策を立て、取り組んでいくことが大切だと思うので、常に検討や見直しを図りながら取組を進めていきたい。</p>
企画部長	<p>続いて、河村委員はいかがか。</p>
河村委員	<p>計画そのものは非常に大事なことだが、教育を取り巻く環境は日々激変している。そういった変化にも柔軟に対応いただきたい。</p>
企画部長	<p>橋本委員はいかがか。</p>
橋本委員	<p>後期基本計画第2章第2節第1項の成果指標のひとつに「コミュニティ・スクールの導入率」があり、現状値は0%で目標値を100%としている。ぜひこれを達成できるように取り組んでいただきたい。</p>
企画部長	<p>山本委員はいかがか。</p>
山本委員	<p>先ほど申し上げた内容を踏まえて、適宜見直しを図りながら進めていただきたい。</p>
企画部長	<p>最後に高山委員、ご意見等はあるか。</p>
高山委員	<p>余談だが、今朝の情報番組でキャッシュレス化を特集していた。現在推進しているデジタル化やIT化は時代の流れであり、そういったことを取り入れて住みよいまち、誰もが大切にされるまちを目指していただきたい。デジタル化とともにこころの教育も大切にしていきたいという市長の冒頭での挨拶を聞いて、教育においても、古くから大事にされていた義理や人情といった不変的なものが自然と身についていくような環境づくりが</p>

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p>必要だと感じた。</p> <p>ただいま、各委員に両計画の整合が取れていることを確認させていただいた。また、市長からは入間市教育振興基本計画をもって入間市教育大綱に代えるという判断が示された。改めて確認をさせていただくが、入間市教育振興基本計画をもって入間市教育大綱に代えるということで決定してよろしいか。</p>
<一同>	<p>異議なし。</p>
企画部長	<p>では、全員から了解をいただいたので、入間市教育振興基本計画をもって入間市教育大綱に代えるということで決定させていただく。</p> <p>最後に、今回の取扱いも含め、今後の教育大綱についての考え方や教育部局に対する意見等があれば、市長からコメントをいただきたい。</p>
市長	<p>教育大綱は市長としての考えをしっかりと表明するものだと考えており、私の教育に対する理念や思いを示していくことも必要だと感じている。少し先の話にはなってしまうが、次期総合計画の策定の際には、教育大綱を単独で策定し、教育振興基本計画と整合を図っていくということも検討していきたい。こういったことを今後、総合教育会議の場で議論していきたいと考えているので、委員のみなさまにはご協力をいただきたい。</p>
企画部長	<p>総合計画自体が5年後には新しい計画に切り替わるので、その計画策定に先立って、今後の基本的な市の教育の方向性について、市長と教育委員が対等な立場で論議するこの総合教育会議の場で、検討していただきたい。事務局としても、教育の方向性が議論できる場として、この場を活用いただけるよう努めていきたい。</p>

